

放射線量を測定しています

公共施設における重点的な放射線量測定の結果をお知らせします

本市では、8月27日～9月25日に、市内の公共施設(小・中学校、保育園、幼稚園、公園、公民館など231施設、1,282地点)の側溝や雨どいの排出口など、比較的放射線量が高いとされている場所の放射線量測定(第3回)を実施しました。

【測定結果】

1,282地点を測定した結果、1,270地点は市独自で定めた「放射性物質除去に関する基準」(毎時0.23マイクロシーベルト以上)の範囲内でしたが、12地点(測定高1センチメートル)で、基準値を超える数値が確認されました。

測定後、速やかに放射線の低減作業を行い、10地点で基準値を下回りました。なお、基準値を下回らなかった2地点においては、立ち入りを制限する措置をしています。

【基準値を下回らなかった地点】

(単位：マイクロシーベルト)

施設	測定箇所	測定高	測定値	低減作業後
老人福祉センター 大堰永寿荘	建物裏側 雨どい下	1cm	0.50	0.50
老人福祉センター 大堰永寿荘	建物裏側 雨どい下	1cm	0.46	0.32

【今後の予定】

平成25年3月中旬～4月上旬に、公共施設における重点的な放射線量測定(第4回)を実施する予定です。また、定時測定や定点測定についても、継続して実施します。

定時測定の測定結果

市内における放射線量の状況を把握、監視するために放射線量の測定を定期的に行っています。測定値については、「市報ぎょうだ」や市ホームページ、各公民館(土・日曜日、祝日を除く)で公表しています。

放射線量測定値(参考値)

・測定箇所 行田消防署本署地内 ・測定高 1メートル

測定日	測定時間	天候	測定値 (マイクロシーベルト)
10月22日(月)	午前9時	晴れ	0.08
	午後3時	晴れ	0.07

放射線量測定器をご利用ください

市民の皆さんが、身近な生活環境などの放射線量を把握できるよう、本市では放射線量測定器の貸し出しを行っています。なお、事前予約が必要となりますので、希望する方は防災安全課に申し込みください。【個人・事業者】半日単位での貸し出しとなります。

貸出日(曜日)	貸出時間	返却時間
月～金曜日	午前9時	午後0時30分
	午後1時15分	午後4時45分

※土・日曜日、祝日の貸し出しは行っていません。

【自治会・団体など】

貸出日(曜日)	貸出時間	返却時間
土・日曜日	金曜日の午後4時45分 ～5時15分	月曜日の午前8時30分 ～8時45分
祝日	前日の午後4時45分 ～5時15分	翌日の午前8時30分 ～8時45分

【放射線量低減のポイント】

土砂や落ち葉が堆積した排水口や側溝、雨どいの排出口、草やコケなどが繁茂している場所などは、比較的高い放射線量が確認される傾向にあります。

日ごろから、落ち葉の除去や側溝の清掃などを行い、放射性物質のたまりにくい環境を心掛けてください。

▶問い合わせ 防災安全課防災担当(内線282)



防災行政無線を用いた全国一斉の放送試験を実施します

内閣府と気象庁では、緊急地震速報を受信した際の行動訓練として、全国瞬時警報システム(Jアラート)を活用した全国一斉放送試験を実施します。

▶日時 12月3日(月)午前10時15分ごろ

▶問い合わせ 防災安全課防災担当(内線282)

放送内容

こちらは、防災行田です。
ただいまから、試験放送を行います。
これは、試験放送です。
これは、試験放送です。
これで試験放送を終わります。
こちらは、防災行田です。

自転車事故に備えて 保険に加入しましょう

気軽に楽しく乗ることができ、健康増進や環境にも優しい自転車。通勤・通学や趣味などで自転車を利用する方が増えていますが、交通ルールを守らず、歩行者と接触するなどの事故が後を絶ちません。また、自転車事故での裁判で、高額な賠償が命じられる場合があります。

埼玉県では、「埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例」を定め、自転車事故の賠償に備えた保険の加入に努めることを規定しており、本市においても、市民の皆さんに保険の加入をお願いしています。もしもの事故に備えて、自転車事故の保険に加入しましょう。

【保険の種類・内容】

種類	内容	備考
個人賠償責任保険	相手にけがをさせたり、相手の財物を壊した場合に対応する保険	自身のけがや財物は適用されません
傷害保険	自転車での転倒など、自身のけがに対応する保険	相手のけがや財物、自身の財物には適用されません
TS(Traffic Safety)マーク付帯保険	自転車安全整備店で自転車を購入または点検整備をした自転車に貼られる「TSマーク」に付帯した保険、自身のけがや相手にケガをさせた場合に対応する保険	財物には適用されません

※損害保険代理店や保険会社、自転車安全整備店にご確認ください。

▶問い合わせ 防災安全課交通担当(内線284)

交通指導員を募集します

交通指導員は、小学校や地域に密着した交通安全活動を実践し、交通事故のない「安心・安全な行田」のために活動しています。

▶応募資格 次のいずれにも該当する方

- ①65歳くらいまでの健康な方
- ②市内の交通安全のため熱意を持って勤務できる方

▶活動内容

- ①小学校登校時における立哨指導りっしょう
- ②子どもや高齢者対象の交通安全教室
- ③市の行事やイベントでの交通事故防止活動

▶待遇

- ①条例に基づき、報酬を支給します。
- ②制服を貸与します。

▶申し込み・問い合わせ

防災安全課交通担当(内線284)



エコライフDAY2012 夏の結果をお知らせします

エコライフDAYとは、省エネ・省資源など環境に配慮した一日を送り、簡単なチェックシートで温室効果ガスである二酸化炭素の削減量を把握し、ライフスタイルを見直すきっかけをつくる取り組みです。

本市では、市内の小・中学生とその家族に協力をいただき、7月2日から8日までの間の一日について実施しました。また、エコライフDAY実施の募集をしたところ、二持田第一自治会、二谷郷新田自治会、ものつくり大学、行田市民大学から応募をいただき、期間を設定して、実施していただきました。

今回のエコライフDAYにより、削減できた二酸化炭素の量は9,116,696グラムで、3,865リットルのガソリンを燃焼させたときに排出する二酸化炭素の量と同じです。

参加区分 ※1		参加数(人)	二酸化炭素削減量(g)	一人当たりの削減量(g)
小学校低学年 (1～3年生)	児童	1,774	970,165	547
	家族、教職員	3,708	1,841,385	497
小学校高学年 (4～6年生)	児童	1,832	1,461,503	798
	家族、教職員	2,629	2,024,336	770
中学校	生徒	1,627	1,346,144	827
	家族、教職員	662	513,133	775
一般	※2	804	536,712	668
市役所	職員など	659	423,318	642
合計		13,695	9,116,696	666

※1 参加区分によってチェック項目が異なります。

※2 一般は4団体(二持田第一自治会、二谷郷新田自治会、ものつくり大学、行田市民大学)の合計です。団体別の詳細は市ホームページに掲載しています。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530

住宅用太陽光発電システム 設置補助金の受け付けを再開

▶対象

- ・自らが居住する市内の住宅に電力を供給する目的で、1キロワット以上の発電システムを設置する方
- ・市税の滞納がない方
- ・建築基準法、都市計画法などの違反がない方
- ・行田市住宅改修資金補助金の交付を受けていない方
- ・8月17日～平成25年3月25日に設置した(する)方

▶補助金額 1件80,000円

▶受付数 100件

▶その他 設置前の申請を原則としていますが、8月17日～10月14日に設置している場合は補助の対象となります。

▶申請方法 環境課で配布している申請書(市ホームページからダウンロード可)に必要な事項を記入の上、直接同課(緑町13-12)に提出してください。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当

☎556-9530

